

ビエウロウ  
夫 人の フレーベル追懷錄

S K 生 譯

十四 ワイデンブルック閣下(つゝき)

私は答へました、「凡そ世の中に現れて來る程の新しい理論は皆多少神秘的の色彩を帯びて居ります、何故ならばそれは十分に理解されないからであります、而して又その理解されない理由はそれが今まで一般的に承認せられてゐた諸々の意見の間に伍してその位置を得てゐないからであります、而して正しい形式と表現とがそれには未だ缺けて居ります。それですからすべての新しいものは、思想を理解しないでたゞ自分の目的のためにそれを利用しやうとしてその外皮のみを捉へるに急である所の取込屋の手に委せらるゝことゝなるのであります、すべての組フオーメーション成は物質界に於ても靈智界に於ても法則に従つて進むものであると

いふことを私達は知つて居ります、けれどもこの進みが「如何にして」なさるゝかといふことを私達は知りません、發展のすべての過程の底に横つて居る所のこの法則は、據つて以てすべての組成が進む所の法則と同じやうに、人の心によつて認められなければなりません、それは據つて以て神がすべてのものを造り賜へる法則であります。而して神の造り賜へるものを模すべく定められて居る人はこの同じ法則によつてのみ彼の仕事を行つてゆくことが出来るのであります。何故ならば人の心は自から法則——即ち獨創的の法則——を拵へることは出来ません、すべてのことは神によつて決定されて居ります、人はたゞ存在物の新しき結

合によつて關係的に創造し得るのみであります。

然るに神は一人絶對的の創造者であります——神は自からすべてのものを造り賜ふのであります。

動物界に於ける本能の無意識的の創造的傾向は人間界に於けると同じくこの組成の同じ決則によつて進むのであります、兒童の本能は彼の蜘蛛や蠶や蜂が據つて以て網を張り、繭を作り、巢を作ると同じ法則をその内に持つて居るのであります、

それ故に兒童の心は無意識の薄明の中に住んで居りながら、この正しい進行が最初の中に住んで居化されてその眼に映されると共に直ちにこれを容易く應用して行くことが出來ます、而して兒童はその應用の仕方を示されるのであります。フレネルの教育法が眞に自然に一致し發達の自然の過程を半ば自己活動に委し、この法則に従つて導き護ることを主として居るのは全くフレネルがすべての組成のこの法則を認め而してその適用法を心得て居るからであります。それ故にこの方面

即ちすべての力と性向とを働かしむる所の活動に對しては自由な服従が證されなければなりません、何故ならばすべてのものは假令無意識的にもせよ己の發達のために努力しますから否しなればならぬからであります。

この自由生産若しくは獨創的活動は、人々に與へられた自由によつて又先祖の罪惡を繼承することによつて神の法則から外れて邪路に入つて居るために如何にそれが蒙蔽されて居るとはいへ尙人の内に晦まされぬ獨創力のあることを證して居るのであります。組成的活動は個人の性向と特性とを明かにし、各個人をして彼自身を知らしめ、それと密接に結合されて居る満足と尊嚴の感とを作り出すのであります。

「幼兒期の初頃に在つてはこの活動の外部の形式は遊戯の形式であり得るに過ぎないのであります、この遊戯を少しでも獨創活動に變へることは極めて幼き頃より全存在の發達に支持と嚮導とを

提供して邪路に陥らしめんとする我儘を制さしむるのであります、同時にこの個人的傾向の自由活動を通して、生徒の力を顧みず現代の新要求を意はず傳統的の命令、要求のみに従つて學校及び家庭に於て形式的に行はれて居る現今の因習的教育法の標準傾向に對する平重が得らるゝのであります。但注意すべきは幼時の過度の刺戟と緊張とは力の總額を減じ弱め、各人に與へられた神の意志を獨創的に用ひることの出来ない多くの人々を死者の如くならしめ機械と變へて了ふのであります。

「すべての進歩、すべての教養は何か新しいものを産出することによつて既存の靈智的及び物質的の富の總額を増加させ得たところの各時代の人々の獨創的創造力の結果であります。

「現狀に満足し、今までの習はしによつてのみ生活することに甘んじて居る模倣者は文明の進歩に對して爲す所あらぬ人々であります。彼等によつ

て何等の進歩、何等の新もこの世の齟らされないのであります。

「すべて高き教化に進んで行く所の潑刺たる天才の充満して居る時代の創造力は内在する神の法則に従つて自由に形づくり組織することの出来るところの獨創力に外ならぬのであります。時代は斯る獨創力の特有に比例して力あるものであり又勢力あるものであり得るのであります、それですから獨創的創造力を喚起し馴致することの出来る方法が如何に重要なものであるか分ります。」

ワイデンブルック閣下は懷疑的な微笑を浮べながら言ひました。「ではこの方法によるとすべての人が天才になれるのでせうか」

私は答へました、「どういたしまして、天才は教育される前既に生れ附いて居なければなりません、澤山下地があるのです、この方法はたい神の意志によつてそれがその時代の目的である範圍内に於て及び現代のすべての要求によつてそれが明

かに現されて居る範圍内に於て創造力の總額を増加しやうとするに過ぎないのであります。それから又現代の救<sup>ザルベリシヨ</sup>助がこの教育法のみによつて保證されるなどといふことも言はれないのであります。この現在の緩慢な過渡期に終を與へ新しき折善き時代を來らしむるためには多くが爲さねばなりません、種々の事柄が起らなければなりません、新しい教育を施さなければ新しい人は出て來るものではありません、而して人間性を誤られたる教育の重壓的の桎梏から救ひ民衆に對する眞實の法の缺乏を修補するものこそ新しき教育であり得るのであります。けれども新しい教育はその完全にして一般的なる適用が眞の方法を以て進む時始めて如上の結果に達し得るのであります。而して私達はまだこの域には達して居ないのであります。

國家の秩序を紊らんとする惧れが新教育を念とする人々に新教育の保護を要求して居るやうに私

には思はれます、彼等は現下の不正虚偽を守らんとする教育的勢力の城砦に突撃し自由且つ意識的に法則に従ふ路を拓き、尙それによつて自由の最高程度に達せんと努めつゝある主張を極力守護せんとするのであります。」

ワイデンブルク閣下は言ひました、「國家の支持が开<sup>せん</sup>廢に簡單に得られるとしたならばその方法は既に行はれてゐなければならぬと思ひます、大洪水の最中に耕すことは出来ません、私達が斯る必要な改善に着手し得る前に私達は先づ政治的方面に於ても亦權力者となつて居なければなりません。私は時代に適應した國民教育の必要を認めますけれども、又フレールベルの方法から多くの便宜が生じて來ることをよく理解することが出来ますけれども、然も私はあなたが確信するやうにこの種の改善の成功、尠くも直接的の成功を信ずるとは出来ません、斯る改善は大海へ一滴水を落す如き結果に陥り易いものであります。粗野な俗衆

——この言葉は如何なる事を意味するでせうか——  
——其處には何世紀に亘つて無數の改革が沈んで行つたルビコン河が横つて居るのであります。』

秋は答へました、「さうです、それですから更に善き更に一般的なる教育によつて是等の粗野な俗衆が社會から絶滅されて了はねばなりません、これはお仰せの通り性急には行きません、私達が長い時間を思つてみる時人間性の進歩とその教化と是否されません、地上の萬物の永久的前進的發展を私達が信ずることが出来ないならば一生を賭する、又は一時代を賭するやうな高尚な活動は行はれないであります、私達は私達の蒔いた種子が何時實るかを知れません、けれども後代のために我が義務を爲さんと欲したならば私達は種蒔がなければなりません、けれども種蒔いた人は誰でもその成長して益々大なる力となることを望まなければなりません」

ワイデンブルックは言ひました、「それは私達が

致しませう、時期が来たならばすぐに始めせう、土地には休養期があります。たいあまり多くを期待し過ぎてはいけません、それから私達の國の如く小さい國は全然他の助けを借らずして事を爲すことの不可能なることを忘れてはなりません、フレールベルに彼の説を重んずるために彼の協同者の選擇に意を用ひるやうに勸告して下さい、彼等の中には自分の身の危いために彼の仕事を危殆に陥らしめんとするやうな者があるやうです、是等の半熱の政客はフレールベルも彼等の希望する如き破壊的傾向を懐いて居るといふやうなあられもない評判を起させる原因となります」

私は答へました、「私はフレールベル及びフレールベルの説を表面的にのみしか知らないものでも斯る疑ひを起さないであらうと思ひました、革命のモットーは顛覆でありますがフレールベルのモットーは進展——人と物との進展であります、而して社會及び國家を改新するためにフレールベルの取る方

法は革命的急進者のそれとは丁度反對でありま  
す、而して又是等の革命的急進者といへども眞の  
改善者と同じく警聲を放つといふ點に於て歴史的  
進歩に多少貢献する所があるのであります。

「新なる建設を可能ならしむるためにはやくざ  
なものを破壊し棄去ることが必要であります、是  
等の破壊的群集の裡にも亦高貴なるもの善美なる  
もの、爲めに努力しつゝある理想家が居るもので  
あります。彼等はたゞ方法に於て誤つて居るので  
あります。けれどもすべての理想家と、進歩と改  
善のために努力する人々との間には拒むべからざ  
る共通點があります、而してその意見及び目標に  
達する方法が如何に異つて居やうともお互ひに同  
情を持つて居るのであります。是等の同情がフレ  
ーベルをして人物に關してあまり意を用ひさせな  
いかも知れませんが、而して彼の自己犠牲の精神は  
多分自己の利益を求むるに急なる人々に欺かれる  
ことを意としないであります、警戒と批評とは

彼の關する所ではありません、有爲善良の人が政  
治的の闘争のために犠牲とならなければならぬと  
いふことを痛ましく思はぬ人がありませうか、フ  
レーベルも亦この事には氣が附いて居ります、け  
れども彼は今では以前若い頃革命的意見を懷いて  
誰にでも知られてゐた彼の甥達からは離れて居り  
ます」

ワイデンブルックは言ひました、「如何に多くの  
人々が私達の同情及び賞讃を熱望いたさせようと  
も政治上の是等の犠牲は不幸にも現今のやうな時  
代に於ては避けることが出来ません。國家及び秩序  
の存續が累はさるゝ如き場合には法律は個人に就  
て區別をしませんし假借をも致しません。」